

2025年度 住宅ローン貸出動向調査結果

調査の概要

本調査は、住宅ローンを取り扱う金融機関を対象に、住宅ローンの取扱状況についてアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

なお、本調査は住宅金融支援機構設立時から継続して実施しております（2020年度から調査名称を一部変更）。

（参考）調査実施時期：2025年7月～9月、回答機関数：298機関

調査結果の主なポイント

※ [] は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

○ 約7割の金融機関が新規の住宅ローンへの取組に積極的 [p. 4]

< 新規の住宅ローンへの取組姿勢 >

- | | | |
|--------------|---------|------------------|
| 「積極的」 | : 71.1% | (2024年度調査 71.8%) |
| 「自然体（現状維持）」 | : 28.5% | (2024年度調査 27.6%) |
| 「消極的（慎重、縮小）」 | : 0.3% | (2024年度調査 0.7%) |

○ 住宅ローンの最長返済期間は「50年」が増加 [p. 13]

< 住宅ローンの最長返済期間 >

- | | | |
|-----------|---------|------------------|
| 「50年」：変動型 | : 57.5% | (2024年度調査 33.8%) |
| 固定期間選択型 | : 55.2% | (2024年度調査 33.6%) |
| 全期間固定型 | : 34.0% | (2024年度調査 21.9%) |

○ 変動型の住宅ローン金利の見直しに関するお客さまからの照会が「増えている」または「多少増えている」と回答した金融機関は約6割 [p. 19]

< 1年前（2024年6月末）と比べたお客さまからの照会状況の変化 >

- | | | |
|---------------------|---------|------------------|
| 「増えている」または「多少増えている」 | : 60.8% | (2024年度調査 53.2%) |
| 「変わらない」 | : 37.2% | (2024年度調査 45.5%) |
| 「やや減っている」または「減っている」 | : 2.0% | (2024年度調査 1.3%) |